



# 大学図書館の役割と課題

---

平成21年度 東北地区大学図書館協議会  
フレッシュパーソンセミナー

東北学院大学中央図書館 須田充彦



# 目次

---

- 大学図書館とは
- 図書館の設置基準
- 環境の変化
- 課題
- まとめ

# 大学図書館とは

---

## ○ 図書館に関する法（設置基準）

公共図書館 ⇒ 図書館法

学校図書館 ⇒ 学校図書館法

大学図書館 ⇒ 大学~~図書館~~法  
⇒ 大学設置基準



# 大学図書館とは

---

大学設置基準



学部の種類や数によって図書の冊数などを明確に定義



大学設置基準の大綱化(1991年)により消滅、第38条により施設、職員、相互利用について言及



# 大学設置基準

---

大学設置基準(昭和31年10月22日 文部省令第28号)一部抜粋(校舎等施設)

第三十六条 大学は、その組織及び規模に応じ、少なくとも次に掲げる専用の施設を備えた校舎を有するものとする。ただし、特別の事情があり、かつ、教育研究に支障がないと認められるときは、この限りでない。

- 一 学長室、会議室、事務室
- 二 研究室、教室(講義室、演習室、実験・実習室等とする。)
- 三 図書館、医務室、学生自習室、学生控室  
(以下略)



# 大学設置基準

---

## (図書等の資料及び図書館)

第三十八条 大学は、学部の種類、規模等に応じ、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料を、図書館を中心に系統的に備えるものとする。

- 2 図書館は、前項の資料の収集、整理及び提供を行うほか、情報の処理及び提供のシステムを整備して学術情報の提供に努めるとともに、前項の資料の提供に関し、他の大学の図書館等との協力を努めるものとする。
- 3 図書館には、その機能を十分に発揮させるために必要な専門的職員その他の専任の職員を置くものとする。
- 4 図書館には、大学の教育研究を促進できるような適当な規模の閲覧室、レファレンス・ルーム、整理室、書庫等を備えるものとする。
- 5 前項の閲覧室には、学生の学習及び教員の教育研究のために十分な数の座席を備えるものとする。



# 大学図書館基準

---

大学基準協会 <http://www.juaa.or.jp/index.html>

[昭和二十七年六月一七日大学基準協会決定]  
最近改正 昭和五十七年五月一八日

## 二 図書館の機能と業務

(1) 大学図書館は、大学の研究・教育に不可欠な図書館資料を効率的に収集・組織・保管し、利用者の研究・教育・学習等のための利用要求に対し、これを効果的に提供することを主要な機能とする。この機能を発揮するためには、(2)～(6)の諸点について格段の配慮をするとともに、その業務の改善を図るための研究・開発機能を併せもたなければならない。



## 大学図書館基準

---

(2) 大学図書館は、現在および将来の研究計画を促進するのに十分な規模・内容であり、かつ学習・教育上の要求に応じる調和のとれた蔵書を計画的に構築するために、一定の方針のもとに図書館資料の脱漏のない収集に努めなければならない。





## 大学図書館基準

---

- (3) 図書館資料の選択にあたっては、収集体制を確立し、利用者の積極的な協力を得るとともに、その要望をきく方途を講じなければならない。



## 大学図書館基準

---

- (4) 図書館資料の多面的かつ迅速な検索を可能にするために、全国的もしくは国際的な書誌事業の成果を活用し、整理業務の能率化・標準化を図るとともに、迅速・的確な処理に努めなければならない。



## 大学図書館基準

---

- (5) 図書館資料の利用が効果的に行われるよう閲覧・貸出し業務のほか、参考調査業務、その他のサービス業務によって、個人ならびにグループの利用者からの要求に迅速・的確に応じなければならない。



## 大学図書館基準

---

(6) 大学図書館は、絶えず変化しつつある利用者の要求をふまえ、常にその蔵書を適切に維持管理し、かつその利用の機会を最大限に確保しなければならない。

### 【出典】

慶應義塾大学 上田修一先生HP

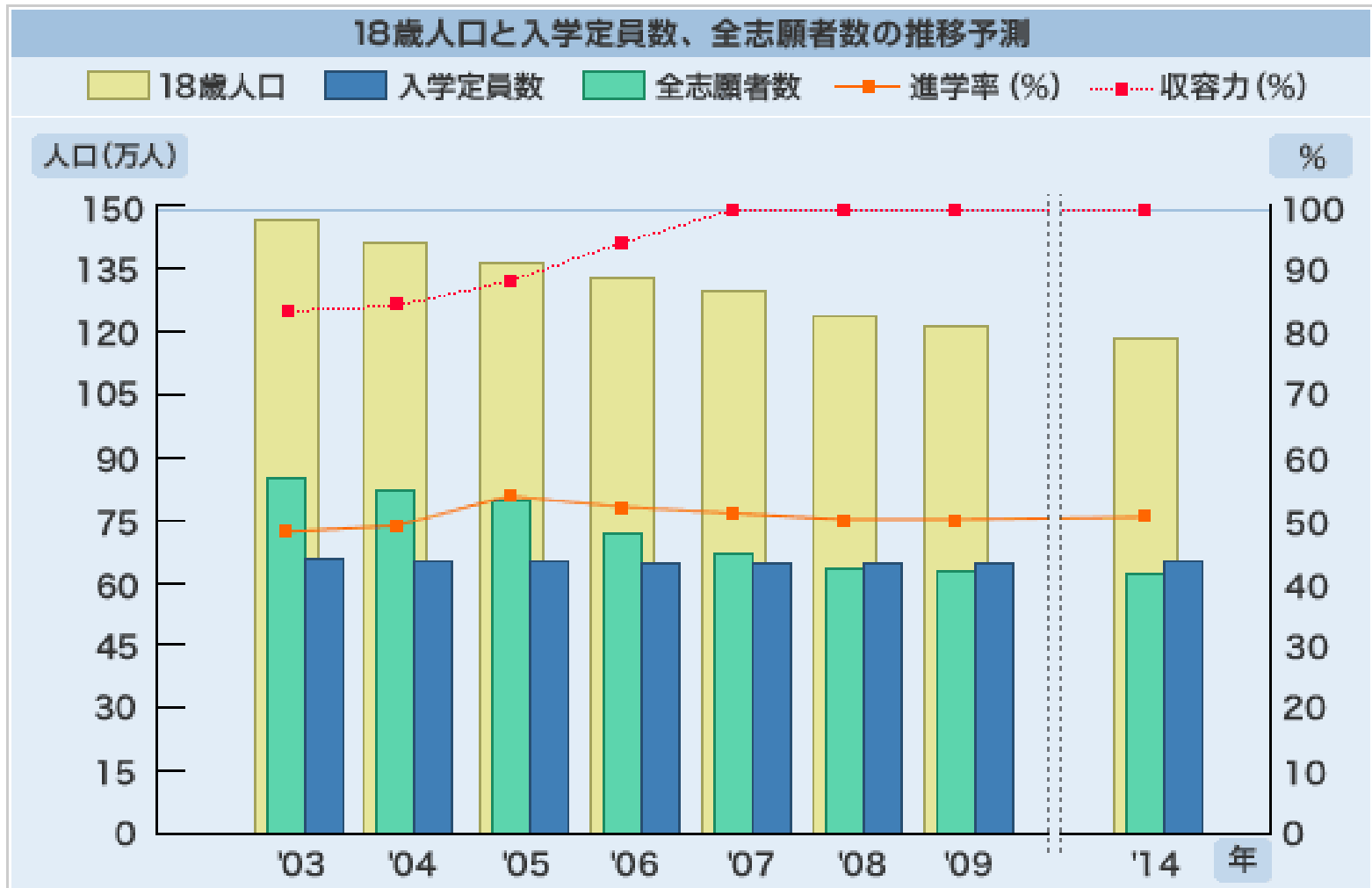
<http://www.slis.keio.ac.jp/~ueda/univlibguide/univlibstandard1982.html>より



# 環境の変化

---

- 少子化による受験生の減少
  - ・学生意識の変化
- 大学設置基準大綱化
  - ・事前審査から事後評価 ⇒ 自己点検・自己評価、外部評価
- 国立大学法人化
  - ・護送船団方式 ⇒ 特色を活かした経営努力
- デジタル化、情報ネットワークの普及
  - ・電子ジャーナル、電子ブック
- シリアルズクライシス
  - ・図書館コンソーシアム
- アウトソーシング
  - ・業務委託化



※進学率=入学者数/18歳人口、収容力=入学者数/全志願者数

日経進学NAVI・<http://daigaku.shingakunavi.jp/p/contents/parents/university/>



# 課題

---

- 大学経営の効率化  
→ 大学資源の有効活用
- 資料の変化、利用(者)の変化  
→ 電子情報への対応、幅広い利用者への対応
- 環境の整備  
→ ネットワークの充実により、誰も来なくなる図書館
- 授業との連携  
→ 教育・研究環境の変化への対応
- 関係者の認識強化  
→ 大学図書館運営に関わる教職員の共通認識



# まとめ

## PDCAサイクル

---

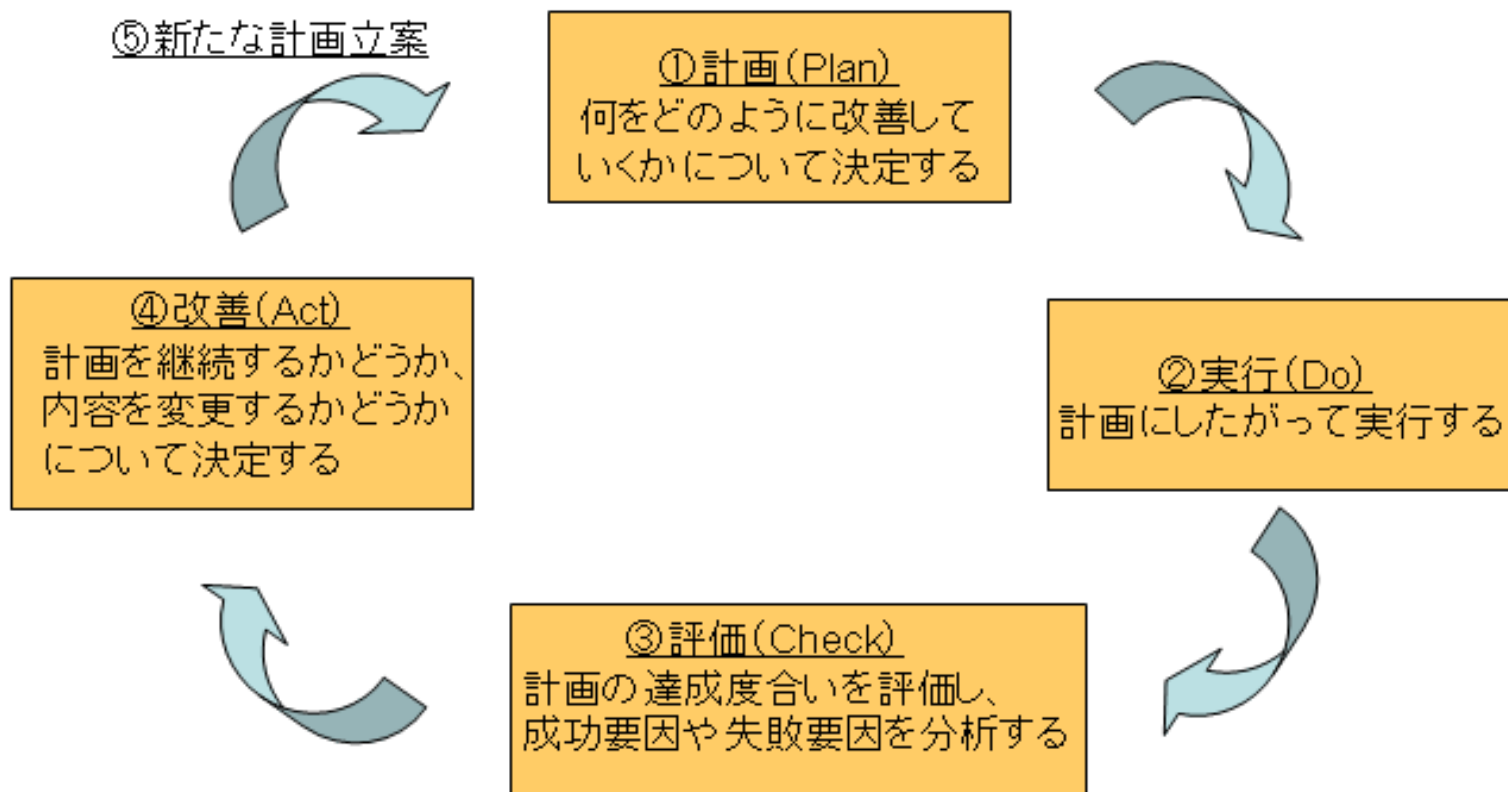
- マネジメントサイクルの一つで、計画(plan)実行(do)評価(check)改善(act)のプロセスを順に実施する
- **Plan** (計画): 従来の実績や将来の予測などをもとにして業務計画を作成する。
- **Do** (実施・実行): 計画に沿って業務を行う。
- **Check** (点検・評価): 業務の実施が計画に沿っているかどうかを確認する。
- **Act** (処置・改善): 実施が計画に沿っていない部分を調べて処置をする。



# まとめ

## PDCAサイクル図

---





## まとめ

---

- 「魅力ある図書館こそ、魅力ある大学となる」  
→ 図書館が大学の中心であれ
- 「組織 < 意識」
- これから求められる人材は・・・
  1. 大学アドミニストレーター
  2. 多面的プロデューサー



## 《参考文献》

---

- 逸村 裕、竹内比呂也編「変わりゆく大学図書館」勁草書房、2005
- 大学図書館の仕事制作委員会「知っておきたい大学図書館の仕事」エルアイユー、2006
- 井原 徹「私立大学の経営戦略序論」日本エディタースクール出版部、2008

ご清聴ありがとうございました